

原文	修正文
このような国際情勢の中で、中国(清朝)は、欧米列強の武力による脅威をじゅうぶん認識することができなかった。中国の<u>服属国</u>だった朝鮮も同じだった。アヘン戦争に衝撃を受けたのは、中国よりもむしろ日本だった。 P.42, ⑨ 唐の<u>服属国</u>と位置づけられていた新羅が、 p.163, ②左31～右1 明治新政府は、政権樹立後、すぐに朝鮮と国交を結ぼうとした。しかし、中国の清朝に<u>服属</u>していた朝鮮は、外交関係を結ぶことを拒絶した。 中国、朝鮮、日本の地理的な位置関係や、朝貢・冊封関係について、説明不足で理解し難い表現である。	このような国際情勢の中で、中国(清朝)は、欧米列強の武力による脅威をじゅうぶん認識することができなかった。中国に<u>朝貢</u>していた朝鮮も同じだった。アヘン戦争に衝撃を受けたのは、中国よりもむしろ日本だった。 唐に<u>朝貢</u>していた新羅が、 明治新政府は、政権樹立後、すぐに朝鮮と国交を結ぼうとした。しかし、中国の清朝に<u>朝貢</u>していた朝鮮は、外交関係を結ぶことを拒絶した。